

## 発議第2号

# 小城市議会議員定数条例の一部を改正する条例

発議者 議会改革特別委員会 委員長 前田 博己

本市議会の議員定数は、平成17年に旧4町が合併し、小城市となつた時点では合併特例の適用を受け、60名でスタートした。それ以降、平成18年3月には22名、平成22年3月には26名、平成23年3月からは20名へと条例の改正を重ね現在に至る。

本市議会は、議会基本条例第14条に定める議会改革推進のため、令和4年の改選後から、議会改革等検討委員会を任意の形で設置し、検討、取り組みを行い、令和6年6月からは議会改革特別委員会を設置して議員定数について更に協議を重ねた。

協議を重ねるなかで、令和6年度から、議員の費用弁償を廃止した。また、定数を削減することに受け、60名でスタートした。それより、市民の声が市政に届きにくくなるという懸念から現状維持という意見もあつたが、さらに議員自ら身を削り、これまで以上に市民からの付託に応えることが重要と考え、議員の定数を現在の20名から18名に減ずる結論に至り、本条例を上程、可決した。

尚、本議案に対する反対討論が行われた。

藤田 二十歳の式典について4町統一の模索について

総務部長 両面パネルの採用について5%で、試算している。



藤田 直子

## 市設置の太陽光パネルについて

### 市長 災害時72時間防災機能の強化とCO<sub>2</sub>削減めざす



▲今年の二十歳の式典のにぎわい



りたい方は、会議録が各町図書館にありますのでご覧ください。  
議録の設置及びホームページ掲載は6月上旬の予定です。)

**市丸** 市長は約26年前旧小城町長選に出馬し、公約で自然破壊につながる運動公園計画を中止された。旧町からの経緯、経過並びに市長の思いについて質問する。

**市長** 運動公園跡地は平成11年に一部工事に着手していた事業であり、私が小城町長に就任した平成12年にこの計画を中止した。その後、具体的な活用方針を打ち出せていないので、平成29年度に市内の副課長級の職員を中心に運動公園跡地の利用の検討をのべ7回開催し報告書を取りまとめた。その結果については平成30年4月の議員勉強

私は多くの皆さ



▲運動公園跡地

**市長** ①認知症地域支援推進員の配置、支えあいセンターの設置等高齢者が地域で暮らし続けることができるよう取り組んだ。障害者相談支援センターセット、障がい者就労支援として資源物回収所を開設。子育て支援では医療費助成の対象拡大や病児病後児保育施設の開設等取り組み、令和7年度からこども家庭センターを設置する。コロナ

案について精査を行い、また部長会等でも引き続き検討を行つてきました。しかし財政状況等を考慮すると何らかのプロジェクトを計画することは難しいと判断

てきたが施設の老朽化や医師不足の中、多久と統合し公立佐賀中央病院となる。地域の健康をしっかりと守り続けてほしい。

**市長** ③三日月小、小城中、牛津中、牛津小の整備、小中一貫校芦刈瀬瀬校の開校、教室の空調設備、給食センター建設等の施設整備、一人一台のタブレットの導入によるGIGAスク



▲7月開院予定の公立佐賀中央病院

**市丸** 市長は約26年前旧小城町長選に出馬し、公約で自然破壊につながる運動公園計画を中止された。旧町からの経緯、経過並びに市長の思いについて質問する。

**市長** まちづくりの大きなチャンスになるのでは



市丸 典夫

## 市政を振り返り 運動公園跡地を問う



会で、活用するにしてもインフラ整備等の事業費が必要であり、継続して検討が必要であると説明した。その後総合戦略課においてプロジェクトチームが検討した利活用

**江島** 市長は今期での勇退を決断された。市政20年福祉、病院、教育行政を振り返る。

①福祉行政の成果と課題

②市民病院の成果と課題

③教育行政の成果と課題

の感染拡大時は医療、福祉の現場の尽力と市民の協力で困難を乗り切った。今後も生き生きと安

心して暮らし続けることができるよう取り組んでほしい。

アナログの両輪で教育行政に取り組んでほしい。

んの知恵を借りながら運動公園跡地を歴史、自然豊かな、まちづくりに寄与できる、素晴らしいエ

リ亞にしてもらえればという思いを持っている。



江島佐知子

## 福祉と教育の 20年を振り返る



**市長** 職員一丸となり知恵を出し最善を模索した

の感染拡大時は医療、福祉の現場の尽力と市民の協力で困難を乗り切った。今後も生き生きと安

心して暮らし続けることができるよう取り組んでほしい。

アナログの両輪で教育行政に取り組んでほしい。

ル構想の実現等学習環境の整備を実施。子どもサポートや学校支援員を配置。放課後児童クラブの整備、運営。保育園等の民営化等に取り組んできた。今後もデジタルと

の整備、運営。保育園等の民営化等に取り組んできた。今後もデジタルと

**市長** 農業振興について、担い手不足に対し、新規就農支援対策を本人への給付、施設整備への補助も行ってきた。芦刈漁港を市営漁港として指定し、近年、桟橋周辺の泥土を解消する浚渫工事を行い安全に漁港を利用することができる。工業団地を小城市が整備し、企業誘致を行った。成果として、雇用の確保定住推進の効果があった。小城スマートインターチェ

**深川** 20年間小城市的産業に関わってきた市長として、小城市としての事業においてどのような繁荣、効果をもたらしたのか。

**市長** 農業振興について、担い手不足に対し、新規就農支援対策を本人への給付、施設整備への補助も行ってきた。芦刈漁港を市営漁港として指定し、近年、桟橋周辺の泥土を解消する浚渫工事を行い安全に漁港を利用することができる。工業団地を小城市が整備し、企業誘致を行った。成果として、雇用の確保定住推進の効果があった。小城スマートインターチェ

ンジ整備により、小城市内から高速道路までのアクセス時間の短縮による物流の効率化が図られ清水の滝等の観光施設における交流人口の増加にも寄与している。牛津川遊水地の整備については、小城市の防災、遊水地から下流域の小城南部地区の減災に大きく貢献するため、近隣地区に御理解、御協力をいただきながら工事を行っている状況である。小城市まちなか市民交流プラザを整備し、西九州大学看護学部を誘致し、小城地区中心市街地のにぎわい創



▲合併20周年を迎えた小城市

**市長** 20年間を振り返ると、4町のそれぞれの事業が展開できたのは、分庁方式から本庁方式に移行したのが大きなきっかけだと思っている。また、小城周辺自治体との広域行政における思い出に残る事業としては、令和2年に広域ごみ処理センタークリーンヒル天山の整備ができたこと。そして、現在小城市民病院と

出につながった。公共下水道と市営浄化槽の区域見直しに着手し、新たな全体計画を策定し公共下水道区域の縮小と市営浄化槽区域の拡大を行い、小城市の情勢に適した新たな区域を設定した。

**光岡** 江里口市政の20年間の実績と反省ということで、各4町の事業の思い入れ、そして思い出に残る事業、苦労された事業、判断に迷われた事業等は。

にわたり、これまで培われてきた歴史や伝統、文化、それを大切にしてきた。市民の皆様方の声をしっかりと受け止めながら、官民一体となつた元気なまちづくり、そして誰もが安心して暮らせるまちづくりをめざすという私の基

も進み、令和7年7月の開院に向けて準備をしている。平成17年4月に小城市の初代市長に就任し、5期20年



▲小城市市制施行20周年記念式典の様子



深川 高志

## 地場産業の振興及び現状とは

**市長** 経済の変化の中で地域産業も頑張っている



光岡 実

## 江里口市政20年間を問う

**市長** 市民が主役の市政の実現に取り組んできた

